

市立加西病院の役割と経営の健全化について



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 多機能型病院の内容と、それにより収益が改善されるとお考えなのかお伺いします。

答 これまでの加西病院は急性期医療、つまり発病、発症、そして受傷直後の医療が中心でした。平成 29 年には地域包括ケア病棟をふやし、治療からきちんと回復して在宅へ、また施設へという道筋が今できつつあります。収益については、地域包括ケア病棟、また軽度の患者さんの受け入れで一日当たりの入院料はかなり減少しますが、逆に病床利用率が上が

り、差し引きの収益はふえる計算をしています。

問 病床数や人的な内容を含む平成 30 年度中に作成する改革案についてお聞きします。

答 平成 30 年度中にこれからの加西病院のあり方、2年、3年先ではなく、10 年後ぐらいをまず一つの目安として耐震補強も含め、施設のあり方、病床規模、そして診療科の内容、これは神戸大学とも情報交換を行い、どの診療科が維持できるのか、医師の確保はできるのかということを担保しながら、新しい病院の姿を決定していきたいと考えています。

問 繰入金について9億円以内は認められるとのことですが、将来の加西市の状況を考慮すると、相当圧縮する必要があると思われるが見解をお聞きします。

答 近隣の急性期病院、また設備、機能等、医療環境が、20 年程度前から大きく変化しています。この環境を受け入れながら加西病院の果たすべき役割を考え、できるだけ効率的に、繰入金を抑えられるよう運営することをまず目指したいと考えます。

(市長) 病院ですが、これは皆さんからご指摘いただいているとおり、時間の猶予は全くありません。早く今必要とされる形をつくること、そして長期的にしっかりどうしていくのかを確立したいと思っています。

■その他の質問項目

- ・ 学校教育の充実
- ・ 新産業団地整備事業
- ・ 健康づくり

介護予防・高齢者の健康増進（いきいき体操）について



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 高知市発信の「いきいき百歳体操」と加西市オリジナル介護予防体操「いきいきサルビア体操」を組み合わせた「かさいきいき体操」は、現在、どれだけ実施されているのか。小野市は平成 26 年に 2 力所で始まり現在 50 力所。登録者数も 1,000 人を超える状況だが、1 年間の立ち上げ数と将来何グループを目標としているか。

答 平成 28 年度に 12 グループが立ち上がり、現在 28 グループ。30 年度は、18 グループ

の立ち上げを目標としています。最終目標は、歩いて行けるところに集いの場が多くできればと考えています。

問 体操のリーダー連絡交流会ではどのような意見や要望等が出たのか。この意見要望に対して今後見直し等の考えは。

答 20 グループの方が参加。運営面や指導面での内容、参加の状況や参加による効果などいろいろな意見があり、平成 30 年度以降も対象グループの定期的な連絡会、交流会を継続して効果検証します。また、日ごろから体操やレクリエーション等の相談ができる体制を考えています。

問 結果の集計、各個人や団体の数字は把握して集計できているのか。今後の高齢化を見据えて介護費や医療費削減等を目標

して各課でいろいろな運動事業をされているが、課を越えての情報交換、連携は図られているのか。

答 健康に取り組むのは健康課、高齢については長寿介護課、医療面から考えると国保医療課というふうになんか意味で連携をとる必要があります。今現在、かさいきいき体操による効果は、まだ各課間の情報共有ができていませんが、団体がふえていく中で共有化は必要であり、より効果をもたらすことができるので、平成 30 年度以降は連絡や情報共有を図りたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 市職員の働き方改革について
- ・ 教育について
- ・ 旧市街地空き家等活性化モデル事業について